

草の根技術協力（支援型）案件概要表

Ⅰ. 事業の概要	
1. 対象国名	ベトナム国
2. 案件名	クアンニン省ビンリエウ地区における少数民族コミュニティの観光開発行動の参加強化プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	クアンニン省は世界遺産のハロン湾周辺を中心に経済発展が著しいが、人口の96%を少数民族が占める同省ビンリエウ地区の生活水準は著しく低い。2020 年のクアンニン省全体の貧困世帯の割合は 0.23%だが、同地区は 3.06%である。これに対してクアンニン省政府は、観光振興の中でも、地域の文化・自然などを活かしたコミュニティベースドツーリズム（CBT）の発展に注力することで、同地区の貧困削減を目指している。しかし、同地区の住民は、自らが有する観光資源を地域振興に活用する方策について情報や知見を十分に有していない。これを踏まえ、少数民族コミュニティが自ら CBT を発展させることができるよう、観光開発活動への参加促進に向けた取り組みのコーディネート・人材育成・体制構築を行い、地域住民の生活改善・生計向上に寄与するため、本事業を実施する。
4. プロジェクト目標	ビンリエウ地区の少数民族コミュニティが主体となり、地域の文化・自然等を活かしたコミュニティベースドツーリズム（CBT）のモデルを構築する。
5. 対象地域	クアンニン省ビンリエウ地区
6. 受益者層	行政（ビンリエウ地区人民委員会等）約 30 人、地域住民（少数民族）約 100 人、事業者 約 10 社
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><成果></p> <p>1：ビンリエウ地区での発掘・調査を通じて地域資源が明確化される</p> <p>2：モデル地区において地域資源を活かした観光客受入のための行動計画が策定される</p> <p>3：観光コンテンツの磨き上げと人材の育成が図られる</p> <p>4：モニターツアーを通じて CBT の新たな観光モデルコースが確立される</p> <p>5：モデル地区でツアーのビジネス化に向け受入体制が構築される</p> <p><活動></p> <p>1-1：資料・文献等による基礎調査を実施する</p> <p>1-2：地域住民、関係者等へのヒアリング等を行う</p> <p>1-3：現地踏査による地域資源の発掘・調査を行う</p> <p>1-4：地域資源ポテンシャルの調査結果をまとめる</p> <p>2-1：重点的に実施するモデル地区を選定する</p> <p>2-2：地域住民、事業者、行政（CP 機関、その他関係機関等）等を対象とした CBT の研修を実施する</p> <p>2-3：地域住民、事業者、行政（CP 機関、その他関係機関等）等とともに、CBT を検討するワークショップ等を行う</p> <p>2-4：モデル地区での CBT のアクションプランを定める</p> <p>3-1：地域住民、事業者、行政（CP 機関、その他関係機関等）等を対象に技術指導・研修等の企画・調整を行う</p> <p>3-2：地域住民、事業者向けにサービス・品質向上のための技術指導を行う</p> <p>3-3：地域住民、事業者向けの人材育成研修を実施する</p> <p>3-4：技術指導、研修等の検証を行う</p> <p>4-1：新たなモデルコースの設定、モニターツアーの企画調整を行う</p> <p>4-2：地域住民、事業者との協働で、モニターツアーを実施する</p> <p>4-3：モニターツアーの評価・検証とモデルコースの改善を行う</p> <p>5-1：行政・地域住民等、関係者間の協議会等を設置する</p> <p>5-2：協議会等においてビジネス展開についての整理を行う</p>
8. 実施期間	2025 年 5 月～2026 年 9 月（1 年 5 カ月）
9. 事業費概算額	9,992 千円
10. 相手国側実施機関（カウンターパート）	相手国政府関係機関：クアンニン省人民委員会カウンターパート機関：ビンリエウ地区人民委員会
Ⅱ. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	有限会社 OM 環境計画研究所
2. 主な活動内容	地域経済・産業の活力向上、都市・地域の基盤開発、地域環境の保全、福祉環境の充実を中心とする諸課題に、住民参画や官民連携策を組み込んだ計画づくりやプロジェクトの推進、運営などに取り組んでいる。